

来週の「売り物記事」はこれ



2019年3月15日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

同性婚認められる社会に

LGBT支援に取り組むアレクサンダー・ドミトレンコさんら

17日(日)



日本に住む外国人弁護士、アレクサンダー・ドミトレンコさん(41)は、同性同士の結婚が法的に認められるよう活動しています。日本の法律家と連携して、LGBTから性的少数者に対する理解を深め、差別をなくし、法的に支援する取り組みは、徐々に支持を広げつつあります。

異国の地で「結婚の平等」を求める熱意の源と、関係者との協力の現状を追いました。筆者は英文毎日室の和田浩明記者です。



連載 教祖なき後に一地下鉄サリン事件24年

社会面 18日(月)から3回

死者13人、負傷者6000人以上を出した、オウム真理教による地下鉄サリン事件から20日で24年。昨年7月に教祖の松本智津夫(麻原彰晃)を含む死刑囚13人全員の死刑が執行され、平成最大の事件は大きな節目を越えました。



執行後、初めて迎える「3・20」を前に、関係者の今の思いを追いかけてみます。

年金質問箱 最終回スペシャル

くらしナビ面 18日(月)

年金問題研究会代表の秋津和人さんによる年金質問箱の最終回。

「2月に男の子を出産しました。夫に収入があると年金保険料は免除されないのでしょうか」と言う自営業の妻や、「少子高齢化による財源不足が深刻化して、やがて年金制度が立ち行かなくなるのでは?」と率直な疑問を投げかける中学3年の男子生徒の質問に、秋津さんが明快な答えを出しています。

人手不足に人口減 コンビニ24時間営業に限界

夕刊特集ワイド18日(月)

開いてよかったと何度、思ったことでしょうか。

深夜の空腹も、ぎりぎりに迫った電気料金の支払いも、目の前のコンビニエンスストアに助けられました。でも、各地の店主が従業員不足に苦しみ、営業時間を短縮させてほしいと訴える中、改めて考えてみました。

24時間営業にこだわる先に、コンビニの未来は開けているのでしょうか――。



食 フード SNSで人気「#萌え断」

くらしナビ面 19日(火)

日ごとに春めいてくる季節になりました。ポカポカと暖かい日は、お弁当を持って花見やピクニックに出かけてみてはいかがでしょうか。

チキンカレーソーテーとニンジンサラダのサンドやコンビーフオムレツサンド、イチゴミルクサンド。屋外で食べるのにピッタリな、見た目も華やかで手軽なサンドイッチのレシピを、料理研究家の岩崎啓子さんに教えてもらいました。



【論点】 統計不正 データ軽視政治の問題点は

オピニオン面 20日(水)

政府統計に対する国民の信頼が揺らいでいます。

賃金や労働時間、雇用状況の動向を調べる厚生労働省の「毎月勤労統計」で長年、不正調査が続いていたことが明るみに出ました。その他にも、不適切な政府統計の扱いが確認されています。



ずさんな統計は、国民の政治・政策不信を招くことにつながりかねません。データを軽視する政治の問題点を考えます。

時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

平成という時代第4部 伝える

社会面 23日(土)から

2018年夏から続けてきた連載「平成という時代」は最終シリーズとなる第4部をスタートします。テーマは「伝える」。事件や市民運動、テレビドラマなど、多くの人々が共有する時代の記憶に深くかかわった人たちを記者が訪ねます。

まもなく終わる一つの時代にささげる鎮魂の言葉に耳を澄ませ、より良い明日を築くためのメッセージを聞き取ります。

春はセンバツから 選抜高校野球開幕

スポーツ面など 23日(土)から12日間



選抜高校野球大会(毎日新聞社、日本高校野球連盟主催)が23日、阪神甲子園球場で開幕します。

大会最多タイの4回優勝を誇る東邦(愛知)をはじめ、八戸学院光星(青森)、横浜(神奈川)、龍谷大平安(京都)、筑陽学園(福岡)など一般選考29校と21世紀枠3校の計32校が、紫紺の優勝旗を目指します。

初出場は創部10年目の札幌大谷(北海道)や同7年目の啓新(福井)など計8校。平成最後の大会で栄冠をつかむのはどのチームか。密着取材で熱戦をお伝えします。